

男女の賃金差について

電気電子工学科 寺島 京那 宮崎 柊

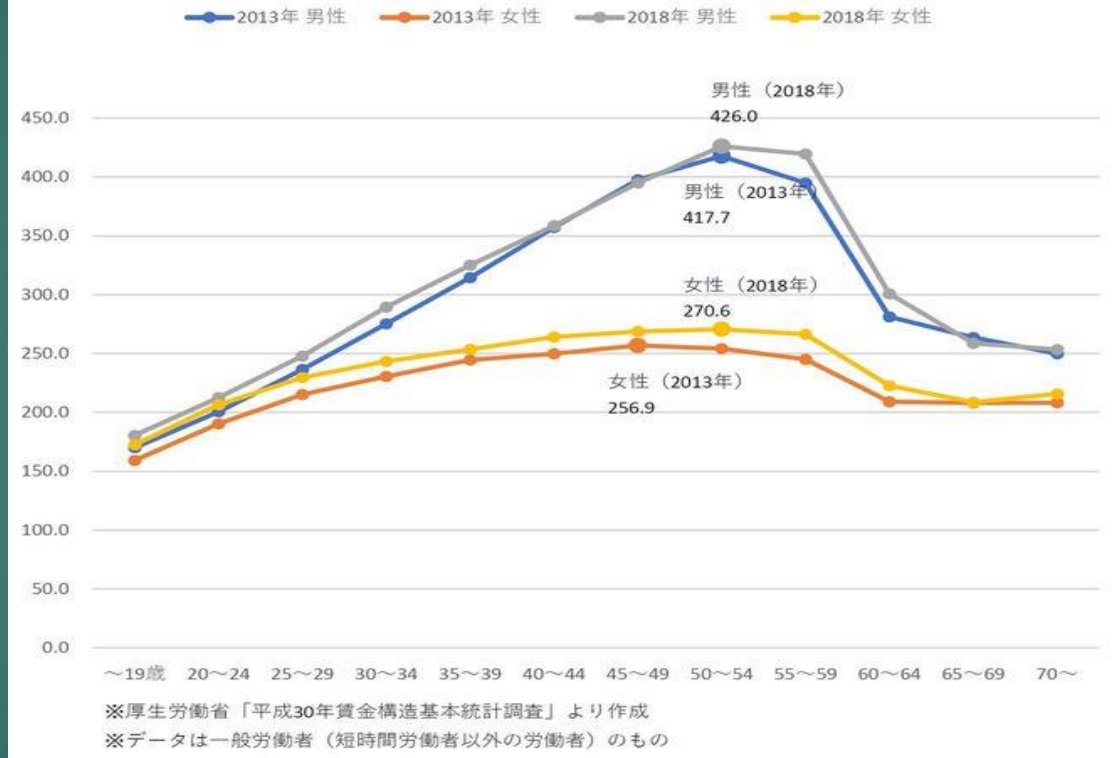
2 選んだ理由

- ▶ 本当に男女で賃金に差があるのか気になったから。
- ▶ 格差はどのくらい大きいのか？

3、現状について

- 【図1】1990年ごろまで、女性の平均給与は「男性の60%前後」でした。この数十年で少しずつ賃金格差は縮まる傾向にありますが、現在でも男性の約75%にとどまっています。

図表1 性別による給与格差は依然として大きいまま

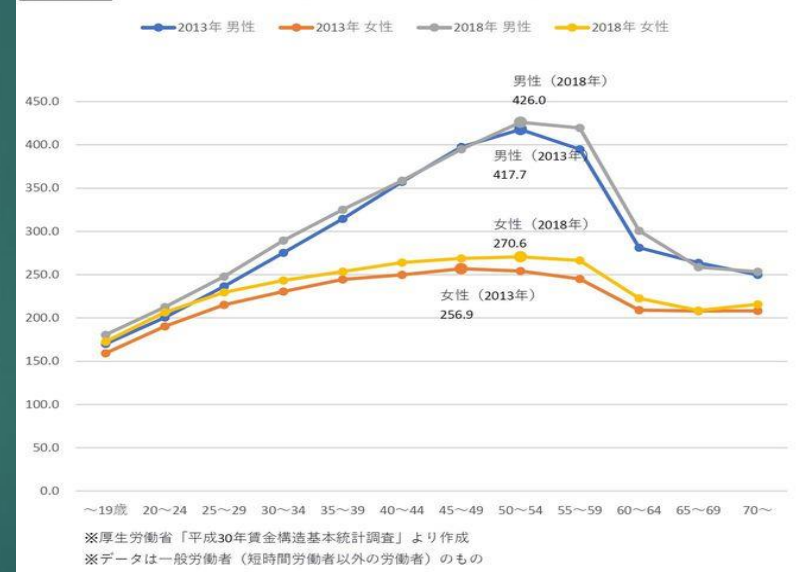


4、問題点について

- ・表1を見ると年々良くなってきたはいるが、男性（=100）と考えて女性は、約75%分しかもらっていないということ
- ・男女賃金格差が起こっている理由としてあげられるのは、女性は妊娠や産休などの長期的休暇をとってしまうため。そして一番の原因は女性を軽視する風習残っているからということ。

表1

図表1 性別による給与格差は依然として大きいまま



5、課題について

- ▶ 今の現状を知ったうえで、今現在おこっている男女賃金格差をなくすための改善策を考える。



6、10代からの提言

- ▶ 賃金を、男性だからこのぐらい女性だからこのぐらいではなく、働いた時間分 = 給料にすれば良いと思う。

(例)

一か月働いた総時間	給料
約140時間	35万
約110時間	25万
100時間未満	20万

7 考察

- ▶ 現在の日本の男女賃金格差は昔と比べてよくなっている傾向がある。だが、まだまだ賃金格差があることがわかった。

8、感想

- ▶ 今回男女の賃金格差を調べてみて、日本の賃金格差はまだまだ改善していかないとはいけないと思った。
- ・ いい資料を探すのに少してこずりました。